

平成 25 事業年度

決算報告書

【第 10 期】

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

国立大学法人 お茶の水女子大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人 お茶の水女子大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,411	4,600	189	(注1)
うち補正予算による追加	99	99	0	
施設整備費補助金	1,085	1,085	0	
うち補正予算による追加	821	821	0	
補助金等収入	250	491	241	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	26	0	
自己収入	1,829	1,909	80	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,730	1,734	4	
雑収入	99	175	76	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	450	402	△ 48	(注4)
引当金取崩	-	3	3	(注5)
貸付回収金	-	-	-	
計	8,051	8,516	465	
支 出				
業務費	6,240	6,322	82	
教育研究経費	6,240	6,322	82	(注6)
施設整備費	1,111	1,111	0	
うち施設災害復旧事業	-	-	-	
補助金等	250	491	241	(注7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	450	380	△ 70	(注8)
貸付金	-	-	-	
計	8,051	8,304	253	
収入 - 支出	-	212	212	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営交付金については、決算額に本年度使用した前年度以前の繰越を含んでいるため、予算額に比して決算額が125百万円増額となっています。

更に、国からの運営費交付金64百万円の増額と合わせ、総額で予算額に比して決算額が189百万円増額となっています。

(注2) 補助金等収入については、国からの補助事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が241百万円増額となっています。

(注3) 雑収入については、財産貸付料及び研究関連収入の利用の増加に努めたため、予算額に比して決算額が76百万円増額となっています。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等研究収入が当初の見込みより収入が少なかったため、予算額に比して決算額が57百万円減額となっています。寄附金収入の収入は予算額に比して決算額が9百万円増額となっており、総額で予算額に比して48百万円減額となっています。

(注5) 引当金取崩については、予算額に比して決算額が3百万円増額となっています。

(注6) 注1に示した理由により予算額に比して決算額が82百万円増額となっています。

(注7) 注2に示した理由により予算額に比して決算額が241百万円増額となっています。

(注8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究収入が当初の見込みより減少したことにより、予算額に比して決算額が62百万円減額となっており、寄附金収入等の支出は、予算額に比して決算額が8百万円減額となっており、総額で予算額に比して70百万円減額となっています。